

みずほCustomer Desk Report 2019/04/01号(As of 2019/03/29)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.01
TKY 9:00AM	110.64	1.1231	124.26	GBP/USD	1.3058
SYD-NY High	110.95	1.1246	124.63	AUD/USD	0.7083
SYD-NY Low	110.54	1.1210	124.15		
NY 5:00 PM	110.82	1.1218	124.30		
NY DOW	25,928.68	211.22	日本2年債	-0.1800	0.00bp
NASDAQ	7,729.32	60.15	日本10年債	-0.1000	0.00bp
S&P	2,834.40	18.96	米国2年債	2.2640	3.31bp
日経平均	21,205.81	172.05	米国5年債	2.2346	2.67bp
TOPIX	1,591.64	8.79	米国10年債	2.4059	1.57bp
ソコ日経先物	21,285	60	独10年債	-0.0740	▲0.25bp
ロンドンFT	7,279.19	44.86	英10年債	0.9940	▲0.30bp
DAX	11,526.04	97.88	豪10年債	1.7725	4.45bp
ハンセン指数	29,051.36	276.15	USDJPY 1M Vol	5.91	▲0.49%
上海総合	3,090.76	95.81	USDJPY 3M Vol	6.37	▲0.25%
NY金	1,298.50	3.20	USDJPY 6M Vol	6.70	▲0.27%
WTI	60.14	0.84	USDJPY 1M 25RR	-1.30	Yen Call Over
CRB指数	183.75	0.42	EURJPY 3M Vol	7.75	▲0.21%
ドルインデックス	97.28	0.08	EURJPY 6M Vol	7.93	▲0.32%

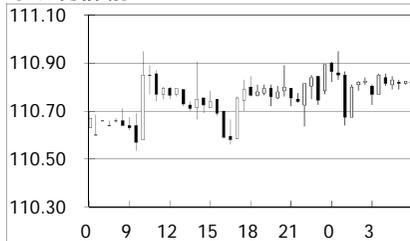
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月29日	08:30	日 失業率	2月 2.3%	2.5%
	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	2月 1.4%/-1%	1.4%/-1.1%
	21:30	米 個人所得/個人支出	2月/1月 0.2%/0.1%	0.3%/0.3%
	21:30	米 PCEコアインフレ(前月比/前年比)	1月 0.1%/1.8%	0.2%/1.9%
	23:00	米 新築住宅販売件数	2月 667k	620k
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	3月 98.4	97.8
3月31日	10:00	中 非製造業/製造業PMI	3月 54.8/50.5	54.4/49.6

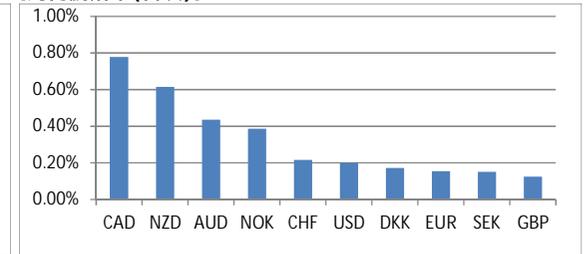
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月1日	16:55	独 マーケット製造業PMI・確報	3月 44.7	44.7
	18:00	欧 CPI速報値(前年比)	3月 1.5%	1.5%
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	2月 0.3%	0.2%
	22:45	米 マーケット製造業PMI・確報	3月 52.5	52.5
	23:00	米 ISM製造業景況指数	3月 54.5	54.2
	23:00	米 建設支出(前月比)	2月 -0.2%	1.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.60-111.50	1.1180-1.1280	124.00-125.00

【マーケットインプレッション】

先週末海外時間のドル円相場は、110円台後半で小幅推移した。欧州時間入り後、米中通商協議への進展期待からドル円は110.60円絡みから110.80円台にじり高。北米時間には対GBPでドル買いとなると、110.95円まで上昇する場面も見られたが、一段との買い材料ない中、110.80円台までやや緩んでクローズした。本日のドル円相場は底堅い展開を予想する。週末に発表された中国3月PMIは製造業、非製造業ともに市場予想を上回り、米中貿易交渉への期待感も維持されている中でリスクセンチメントは悪くないか。ドル円相場については基本的には底堅い展開を予想するも、111円台半ばからは売りも見られ上値は重くなりそうだ。

東京	東京時間、110.64レベルで取引を開始したドル円は年度末であることから公示仲値の発表にかけて実需の買いが意識される中、東京時間高値110.95円まで上昇。しかし上値を試す展開とはならず、すくじ反落。その後は実需の売りが交錯する中、110.69レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場ドル円は110.69レベルでオープン。期末日であることや午後の英国下院でのEU離脱案採決を控え110円台後半で様子見となり110.76レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.3072レベルでオープン。午後の英議会でEU離脱案主要部分の採決において野党労働党は反対を投じるとされていたが労働党の一部が賛成に回るのではとの市場での期待に1.3135まで買われた。その後は投票開始を待ちながら1.31丁度を挟んで横ばいとなり1.3105レベルでニューヨークへ渡った。(00531 444 179 ロンドン-トルリー 西海)
ニューヨーク	NY市場のドル円は110.76レベルでオープン。朝方は米2月個人所得、1月個人支出が共に予想を下回り、1月PCEコアも予想を下回ったことから、ドル円は110.64まで下落する。続いて発表された米2月新築住宅販売件数が予想を上回り、前回分も上方修正され、同時に発表された3月ミシガン大学消費者信頼感指数(確報値)も予想を上回ったことから、ドル円は上昇。加えてポンドドルが下落する動きや、昨年英国で元ロシア人スパイが襲われた事件を受け、米国が新たな制裁案を準備しているとの報道を受けたドル買いに、ドル円は110.95まで戻す。その後再び110.64まで下落する局面もあったものの、午後は週末を控え、狭いレンジでの推移が続き、110.82レベルでクローズした。一方、3度目のメイ首相のブレグジット案採決を前に、一部の労働党員がメイ首相案を支持するとのヘッドラインが伝わったことから、ユーロポンドが下落する動きに連れ安となり、海外市場で1.1210まで下落したユーロドルは、1.1230レベルでNYオープン。朝方は米個人所得・支出、PCEコア結果を受けたドル売りに1.1246まで戻す。その後メイ首相の離脱案が再び否決されたことからユーロポンドが上昇する動きに、ユーロドルはサポートされる。午後はドル買いが優勢となったことからじり安で推移、一時1.1212まで下落し、1.1218レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:山本・玉井